

優しく強い子に！



<http://www.minamih.net/>
19・3・21(木)
南NEWS no 148

第37回 府中招待 新4年生サッカー大会

「2019-3-17(日)」 府中市少年サッカー場

〇めあて：技を使う、ゲーゲンプレッシング、
渡り廊下を使う

(グループリーグ 15分1本)

①△南八王子 1-1 大和北 前半1-0

得点：カツヤ君 (A マサムネ君)

むさしのリーグの仲間である大和北。よくボールを囲いこんで、何度もドリブル突破でき、押し気味に試合を進めました。8分に右サイド渡り廊下から攻め込みマサムネ君が中に入れたボールをカツヤ君がゴール。惜しくも終了間際にハンドでPKを取られて引き分けになりました。



人4人と抜くことができ、3年生で最もドリブルチャンピオン賞に近い選手。抜いた後に寄せられるとスピードを落とす癖がなくなってきたのは成長です。アサキ君のドリブルは相手の足をかかわすのが中心です。相手の足が届く距離(相手の間合い)に入ってから技を出すことがほとんどです。密集で相手をかかわすのは上手ですが、抜け出したときのコース取りや緩急の付け方にもっと工夫をし、相手の間合いの手前で仕掛けられたら、さらにすごいドリブラーになるでしょう。アサキ君の力を伸ばすメニューをたくさん考えていますので練習していきましょう。

☆カイリ君…カイリ君が突破できるかできないかで点が取れるか取れないか決まります。瞬間的なスピードがあり、気持ちの強さもすばらしい選手です。ボールを奪うのも得意でときどきスーパースターのような活躍をします。最終ラインまで下がってしまうことがありますが、それは頭が良く、全体を見る力があるからだと思います。カイリ君のドリブルはアサキ君と逆で、相手の間合いの外から緩急を付けて抜くタイプです。でも、間合いに入っていると同じ選択をしていること、右足インサイド・インステップのボールタッチが多く、コース取りも直線的なので途中でひっかかることがあります。技をだんだん使えるようになってきたので、スピードにのった中で技を使う練習、相手の矢印を外す練習をしていきましょう。

☆カツヤ君…試合でも練習でもチームの雰囲気大きく影響する選手です。カツヤ君の渡り廊下の突破が出るとチームは活気づきます。点を取る能力もとても高いです。賢いので見切りが早い傾向があります。「これ、無理！」と判断しているように見えることが試合中多くなってきましたが、案外無理でないこともあるのでそこはがまんしてチャレンジしてください。そのかわり、これからはひとりでは無理な状況を解決できるグループ練習もしていきます。カツヤ君の頭の良さやコーチングが発揮できるはずですよ。ドリブルはカイリ君とほぼ同じ特徴、課題です。カツヤ君がもっと突破できるよう、相手の足をとっさにかかわす技をトップスピードで出せる練習も用意しています。



☆ハルト君…練習をほとんど休まず、時間前にちゃんと来るのがすばらしいです。今日の空き時間の練習でも始めた頃と較べてずっと上手になっているのがわかりました。4試合めのPKはよくキャッチしてピンチを救いましたね。試合ではなかなかボールに絡めませんが、ボールを追うときの走りがものすごく力強くなっていて驚きました。まじめに練習しているからだだと思います。練習するとちゃんとうまくなるとコーチはハルト君に教えてもらいました。毎日、家でも柔軟体操やボールタッチを練習してください。4年生になったら試合で点を取りましょう。

〇マサムネ君…どのコーチも「マサムネは上手くなったね～」と言います。南に入ってからすぐに守備で力を発揮していましたが、今日はアウトサイドで相手の矢印の逆へ持ち出しドリブルを何度も仕掛けていました。今はまだ初めてやる練習ばかりだと思いますが、習得が早いのは大きな強みです。キックがもう少しできるようになるともっとサッカーを楽しめると思います。軸足を置く位置に注意して。試合中に実際に起きるような状況を練習でもたくさん再現しますから、サッカーの試合をたくさん観ておいてください。

ヒロト君・ヒデオ君…2年生の2人は3年生にひけをとらない活躍でした。前日に引き続きヒデオ君のすばらしい守備が見られました。ヒロト君はGKとしてチームを支え、フィールドでは3年生相手に何度も突破していました。

②×南八王子 0-6 府中新町

東京有数の強豪、府中新町。ベンチにブラジルの元プロ選手で日産(マリノスの前身)でも活躍したマリーニョさんが。「パスが速い」「シュートや当たりが強かった」と試合後に選手は口にしていました。貴重な経験になりました。大敗ですが、アサキ君、カイリ君、カツヤ君に関して力の差がそれほどあると思いません。卒団までにまた戦えるようがんばりましょう。※府中新町が大会優勝

(3位 トーナメント 15分ハーフ)

③×南八王子 0-3 武蔵野ウィングス (前半0-1)

この結果はおにぎりの数を制限しなかったコーチの痛恨のミスです。ごめんなさい。

(3位 一回戦敗者同士のフレンドリ)

④〇南八王子 4-0 長津田ドラゴン (前半2-0)

得点：アサキ君×3、ヒロト君 (A カツヤ君)

3分にアサキ君がドリブルでゴールラインまで切り込んでシュートし先制。続けてミドルシュートも決まります。この試合、アサキ君はハットトリック！その後、PKをとられますが、GKハルト君がしっかりキャッチします。ヒロト君のゴールもあり快勝しました。

(一人ひとりについて)

☆コウタ君…体が強く、キック力もついてきました。話し方もしっかりしてきて、心の成長を感じます。今日の試合では集中している時間がたくさんありましたね。何をやるか決めているときのコウタ君はすごい力を発揮します。課題は次に何をやるか決めていない時間が試合中にあることです。これは体がサッカーを覚えるまでもっと反復するのが一番だと思います。横になれば眠くなるように、体は心に影響するからです。午後練にもよく出ているようですから、練習を休まず、自然に足がボールに触れるようになるまで繰り返しががんばりましょう。楽しい練習をたくさん準備します。

☆アサキ君…キャプテンとしてよくがんばってチームをまとめました。まわりをよく見て、そのときやらなければならないことをよく理解しています。ここにきてキック力がぐんと上がりました。GKとしてもすばらしいプレーをします。技をたくさん使え、試合で3

★試合を振り返って

良いところも課題もたくさん見られました。また葉山招待が残っていますが、3年生全員が揃う今年度最後の大会でしたので、今年度をかんだんに振り返ります。

(3年生でやってきたサッカー)

試合のめあてに「ゲーゲンプレッシング」をコーチは指定しました。ポジションに関係なく集団でボールを奪いショートカウンターを狙う戦術です。本来、これを成功させるためには攻撃時からボールを奪われたときの準備をする必要があります。また、選手同士がボールを失った瞬間に高度な判断をしなければなりません。今の段階では攻撃時に「ドリブルする選手についていく」ことだけ要求しています。それによって失ったときにボールの近くに味方が多くなります。後はハードワーク（いっしょうけんめい走る、体を寄せること）が必要です。失敗すると大ピンチ。だんごサッカーをあえて選んでいると言えます。

「技を使う」もめあてです。自陣でもパスをつながずドリブルで相手陣地へボールを運ぶことを求めています。それによってピンチもたくさん招きます。それもあえてやっています。技（フェイント・ターン）は矢上代表が「九九を覚えるのと同じ」とおっしゃっているようにサッカーを楽しむための道具です。今、勝敗よりも優先して、ドリブルを要求しているのは、一人一人が試合で技を試せる回数が最も多くなるからです。練習と試合はまるで違います（プロの選手でも試合に出られないと、どんなに練習しても調子が落ちてしまうそうです）。「試合」は特別な時間です。そこで技が成功したときの達成感を味わってほしいのです。

こうした理由から、全ての場面できちかくボールへ向かい、技にチャレンジすることを要求しているのですが、それどこまで選手が応えてくれたのでしょうか。そして楽しめたのでしょうか？ 試合ではなかなか成果が出ないように感じたかも知れません。でも、味スタの小さいピッチでの5対5や最近の練習で行っている4?5人同士のミニゲームでは3年生のみんなはすばらしいプレーをしています。あっという間にボールを囲んで奪い、すぐに技にチャレンジしていました。コーチの要求に見事に応えてくれました。みんなの成長ははっきりわかります。

4年生になったら、個人だけでなくグループでプレーする練習を増やしていきます。どんなプレーをするか引き出しが増えて、もっともっとサッカーが楽しくなるはずです。今の6人が「黄金の6人」となって試合も練習も楽しくプレーして、見ている子が一緒にやりたいな、と思ってもらえるように。コーチも4年生になったみんなと練習するのを楽しみにしています。

b y 中村コーチ